



令和7年4月1日

# らいかい恵子 議員便り 277号

合志市市議会議員 来海恵子 合志市幾久富 1642-38 ☎ 090-9655-1143

ご入学&ご就職おめでとうございます！今年も、毎朝のスクランブル交差点での出会いをワクワクしながら楽しみにしています。「こどもまんなか社会」について質問し、今月は市長の考え、来月は教育長の考えを掲載します。来海は、議員便りを毎月一人で8,000枚配っています。



【令和7年3月議会一般質問から抜粋】

## 「こどもまんなか社会」とは？

### 荒木市長の考える「こどもまんなか社会」とは？

**来海:**「こどもまんなか社会」が国会答弁やマスコミで盛んに出てきますが、今一はつきりしません。合志市の「こどもまんなか社会」について市長の考えを伺います。

**市長:**子育て中のお父さん・お母さんに聞くと、子ども・子育てが素晴らしいので合志市に移り住み、医療費の問題等や特別支援学級が充実していると評価をいただきます。一方で、地域に買物する場所がなく不便だと。また、小・中学校の子どもたちには、この市には夢がない。また、自分が志を持って勉学に励んでも、将来は都会へ出ていきたい。こういった話が、毎回となく出てきます。

「こどもまんなか社会」とは、生まれてくる前から生まれてきた子どもをどう育てるかが中心かもしれませんが、やはりまちづくりの中心として、子どもがどういう立場にいるのか。大人がしっかりと守っていく環境をどう作っていくのかが、私のまちづくりの基本ベースです。

先ほどの質問で、公園に関しての要望がありました。私も公園がバリアフリーでないの、障害のあるなしを問わずに遊び場として使ってもらうことを当然考えなければと思っています。しかしながら、子ども・福祉・子育て等色々な表現はあると思いますが、財源なき事業が果たしてなり得るのかと考えます。その片方では、大人社会に混ざっていく子どもたちの雇用をどう捻出していくのか。また、それに係る税金を市民に将来ツケを回してい

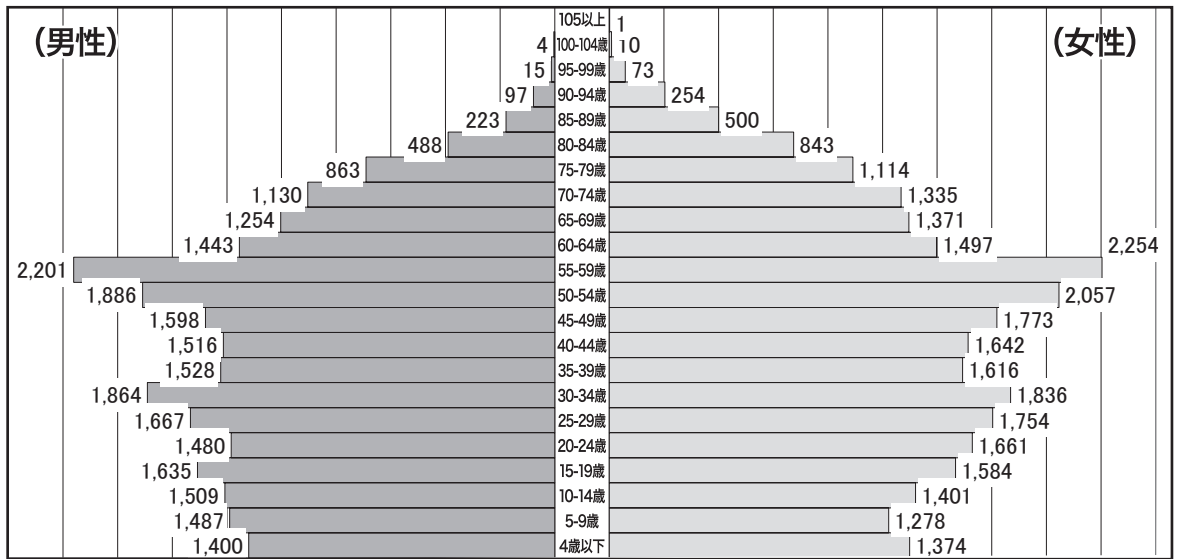
のかを考えると、トータルで全ての事業は「こどもまんなか社会」に携わってくる環境が、合志市では優先順位として高い財源の位置づけになっていると思います。

一方、私たちの生

合志市人口ピラミッド(平成18年2月28日現在)

(単位:人)

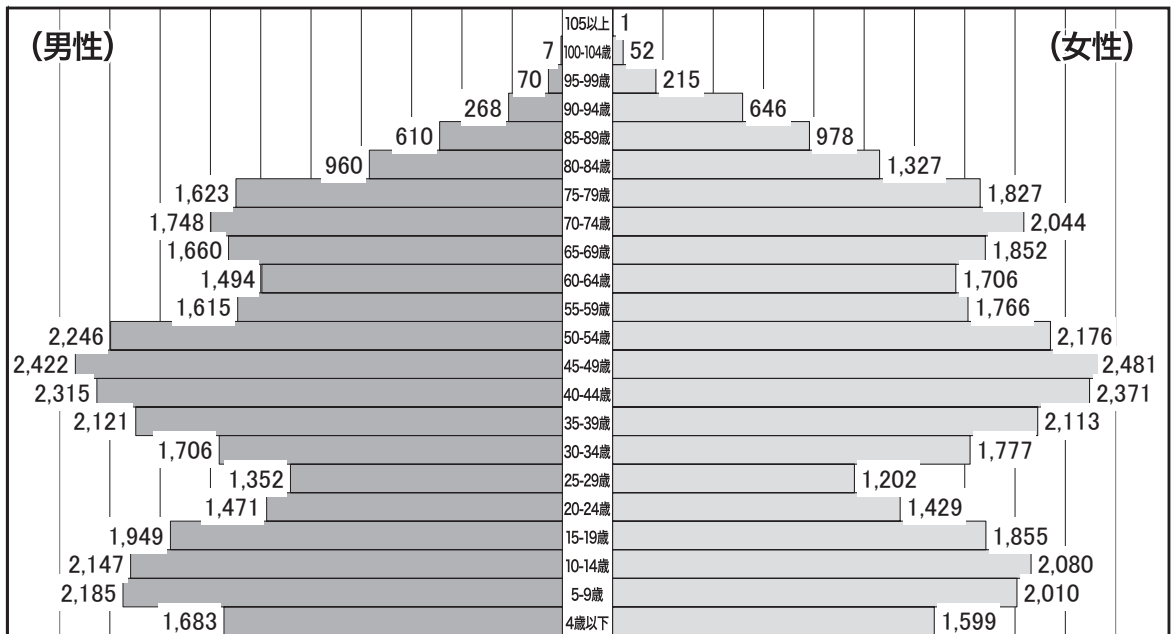
活環境の中で  
本当に困ること  
は水不足や、  
または先般埼玉  
であった下水道  
が破裂したなど  
で、これからインフラ



整備が問題になります。しかし、実際財源の優先順位の中で教育・子育て・福祉は上位で、逆に言うと余剰が出た場合に環境整備に回す

合志市人口ピラミッド(令和7年1月31日現在)

(単位:人)



というのが今までやってきた予算の構造です。これを大きく変えるとなると、さらに何を削り、何を優先するのかになります。それでも私は、今回誰にも我慢をしてもらうわけにはいかないが、やらなければならないものはやらなければいけないと思い、「こどもまんなか社会」を上位に入れました。当然その中には財源として、私は特に今教育現場において不足している特別支援員を増やしてほしいという要望や、学校現場の熱中症対策もあります。全てにおいて、「こどもまんなか社会」と切り分けることができるならいいが、それを称して子育て・教育・福祉という考え方の中で今までもやってきました。これを横断的にすると

合志市で生まれた新生児数

平成18年(合併時)	585人
平成27年(ピーク時)	685人
平成30年	651人
令和5年	538人

いうことは、自分たちがやっている事業そのものがどういう結果を生みたいのか、また、先ほど言いましたように、雇用と言いながら、片方では半導体を含めいろんな産業を誘致し広げると、片方では環境、農地が少なくなってくる。または渋滞がひどくなってくるというのも課題が出てきます。これからの社会は、子ども優先ではあるけれど、大人社会においては不足するものを課題として整理して、お互いが譲り合ってほしい。財政だけではなく、全てにおいてそういう考え方も持たないといけない。

いろんな角度から提言をいただく質問もあり、私も横で納得しながら、しかし財源はどうするかとそろばんをはじきます。私は財政という議論を、先ずはきっちり議論をしていくことを優先すべきだろうと思っています。答えにはなっていませんが、合志市のまちづくりというのは、やはり若者が魅力を感じてくれる、または住んでいる人たちが少しずつでも生活の質がよくなってきたなど実感できるような、まちをつくっていくことが私の責務であり、私が市長として出馬をしたいと思ったきっかけでもありました。「地方創生」、そして「若者や女性に選ばれる」は、いい言葉です。しかし、これは5年、10年、20年と少しずつ積み重ねてそのような結果になればと思っています。事業全体が子ども、若者、女性、そして我々の環境整備という意味では、老若男女全てにおいて市民が落ち着いて暮らすことのできる合志市をつくるのが、「こどもまんなか社会」につながるとしています。



### 市長の考えを、予算にどのように反映したのか？

**来海:** 市長の、「こどもまんなか社会」についての考えを伺いました。

そこで令和7年度の予算はにどのように反映され、どこを一番工夫されたのかを伺います。

**総務部長:** 令和7年度の一般会計予算総額が 307 億 3,300 万円で、子どもに関連する予算は、民生費の児童福祉費や衛生費の保健衛生関係、教育費の学校教育費など約 132 億円の予算を計上しており、前年度当初予算比較では約20億円の増です。

人件費や物価高騰による経常的経費の伸びがある中で、総合計画の中の政策横断的  
重要課題の一つに「こどもまんなか社会」の構築を掲げており、予算を確保できるように財  
源の確保や将来負担への影響などを考慮しながら調整を行いました。

**こども部長:** 今年度こども計画の策定に伴い、市の子どもの関する現状と課題について  
調査・分析を行いました。令和7年度当初予算においては、子ども施策を総合的に推進し  
ていく観点から、市民のニーズや課題、それに対応する施策を整理し、重要度・緊急度の  
高い支援を優先的に計上しています。

具体的な施策としては、少子化対策として結婚支援事業、子育て世帯の相談に応じ子育て世帯を地域で支えるための地域子育て相談機関事業、子育てと仕事の両立を支援するための放課後児童クラブ室整備事業、子育て世帯の孤立化や虐待防止のための女性・子ども支援事業の中の子育て世帯訪問支援事業を重点事業として計上しています。

### 一般質問のその後①5歳児検診

**来海:** 発達障害児が増えており、入学前に5歳児健診で早期に発見することが重要だと国も進めています。「医師会と相談して検討します。」でしたが、進捗状況は？

**こども部長:** 5歳児健診については、近隣の市町の動向も踏まえ、様々な角度から検討しておりますが、専門的な相談に対応するスタッフの確保や健診回数が増えることにより健診医の方々への負担が増えるなどを考え、令和7年度での実施は予定しておりません。

### ②母子手帳のアプリ化

**来海:** 母子手帳のアプリ化はどこまで進んでいるのか。

**こども部長:** こうし子育てアプリ「Kokoa」は、令和6年10月より運用を開始し、令和7年2月13日時点では、登録数が598件です。現在の機能は、妊娠経過や子供の成長記録、予防接種のスケジュール管理など、電子母子手帳の機能に加え、市の子育て情報の配信や子育て関連施設、医療機関の検索が可能です。オンラインアンケート機能では、妊娠7か月頃のアンケートの実施を行っています。離乳食教室の申込みや子育て応援ギフトの申請を開始しており、保護者の負担軽減につながることから、アプリ登録者数も増えると見込んでいます。オンライン申請の充実や子育て情報のタイムリーな配信を行い、利用者の利便性の向上を引き続き図ります。



### ③産前産後ホームヘルプサービス事業


**来海:** 産前産後ホームヘルプサービス事業(妊娠・出産・子育て中に体調不良などで家事や育児が困難なご家庭に、事業者からヘルパーを派遣し、昼間日常的に妊婦や養育者がする家事や育児を支援の事業)については？

**こども部長:** 令和7年度は、養育環境に困難を抱え、特に支援が必要と思われる子育て世帯、及びヤングケアラーがいる世帯など、真に支援の必要性及び緊急性の高い世帯を対象として、家事支援や養育、育児指導を行う子育て世帯訪問支援事業を実施します。



〒861-1112 合志市幾久富 1642-38 来海恵子 FAX 096-248-8956

Mail rai-ok@nifty.com <http://raikaikeiko.info/>

 らいかい恵子

